

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700285		
法人名	有限会社 リアン		
事業所名	グループホーム えみな		
所在地	岩見沢市南町8条1丁目4番8号 (電 話) 0126-20-1310		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年2月18日	評価確定日	平成21年3月27日

【情報提供票より】 (21年 1月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 0人, 常勤換算 6人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り		
	2階建ての	1～2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,000円	その他の経費(月額)	水光熱費 11,000円 暖房費(11月～4月) 6,000円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	8 名	男性 1 名	女性 7 名
要介護1	0 名	要介護2	0 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.5 歳	最低 79 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東町ファミリークリニック・松藤医院・ハタテ歯科・鍵谷歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの最大の特徴は、利用者や家族が望む暮らしを最後まで支援するところにあります。終末期にあつては家族と職員により看取することも前提とし、職員はその間に利用者や家族に対して何をなすべきか、何ができるかを常に自問しながら、日々の取り組みが行なわれています。ホーム内では、廊下を狭み併設されているデイサービスも認知症の方々を対象としており、行き来するなど交流が行なわれています。現在の建物は、企業の社員寮を改造したもので、老朽部分も見られ運営者は新築の構想も話されていましたが、玄関先から一般家庭を訪問するような感じがし、内部にあつても家庭的な雰囲気 に満ちたホームであるとの強い印象を受けました。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価での改善課題では、「介護計画の見直し」が改善され、そのほかの「運営推進会議」「同業者とのネットワーク作り」「災害対策」に関して鋭意改善の着手はされていますが、具体的には、今後の継続した取り組みとなっています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の作成に当たっては、職員全員が関与しながら作成の作業がされていますが、出来上がった自己評価を見ますと、職員の日頃のサービスについて振り返りや気付きと今後の対応が見当たりません。記述を簡略した為と思われますが、職員が今後取り組むべき目標設定のためにも、評価の意義や内容の把握と記述について検討されるよう望みます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 地域の方々がメンバーとなり、出席いただいてホーム運営に貴重な意見をいただいておりますが、市の担当者及び包括地域支援センターの出席が無いのは残念なことです。開催の日時の工夫もありますが、粘り強い出席の要請が必要と思慮します。また、自己評価や外部評価を会議で開示しながら、取り組みへのモニター役を担っていただくなど、会議を通してホーム運営の向上が図られるよう取り組みに期待します。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の訪問頻度は比較的高く、訪問の際に意見要望また苦情などを聞くようにしています。いただいた内容はミーティング表に記載され、職員間で共有を図りながら、改善に向けた検討を行なうなど、ホーム運営の向上に反映するよう努めています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入しながら、地域の行事参加や美化運動の一環として行なわれる公園の清掃活動に利用者や職員ができるだけ参加しています。盆踊りや夏祭りには地域の婦人部の協力をいただいて楽しいひと時を過ごすなど、地域の一員として認識と交流の高まりが見られます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームでは、職員一人ひとりが理念を創りながら、日々のサービスへの目標を設定しています。ホーム長はそれら個々の理念を集大成してホーム理念としていますが、重要事項説明書への記載、また、ホーム内掲示などが無く、ホーム理念としての啓発も十分ではありません。	○	地域との絆を大切にするホーム長の理念すなわちホーム理念が、もっと対外的にも啓発されるべきと思慮します。ホーム案内書、重要事項説明書を始め、ホーム内の掲示、「リアン通信」への掲載など家族への啓発が必要で、その取り組みに期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ホーム理念及び個々の理念を共有するため、KJ法による確認作業を踏まえるなど、理念の実践に向けた取り組みが日々行なわれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しながら、地域の行事参加や、美化運動の一環として行なわれている公園の清掃活動など、利用者、職員ができるだけ参加しています。盆踊りや祭りには婦人部の協力をいただくなど、地域の一員としての認識と交流の高まりが視えます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を作成する上で、職員間での協議も行なわれていますが、日頃のサービスへの振り返りなど、折角の協議内容が評価には表れてなく、職員にとって課題への対応が難しいものと思われます。	○	日頃のサービスを振り返って、気づきなどの掘り起こしを行ないながら、課題への取り組みが必要と思慮し、改めて評価の意義を職員間で学ばれ、課題への計画的かつ積極的な取り組みを期待します。

岩見沢市 グループホーム えみな

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年からの課題でもありますが、市の担当者や地域包括支援センターの職員の参加が進んでいません。また、自己評価及び外部評価の開示や取り組みの状況などが議題の中に見ることができません。	○	開催の日時も工夫しなければなりません、メンバーとしての市の担当者や地域包括支援センターの職員には、今後も出席の要請は継続の必要性があります。また、会議のメンバーには自己評価や外部評価を開示しながら、取り組みへのモニター役を担っていただくなど、会議を通したホーム運営の向上を図られるよう期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、ホームの現況や生活保護を含めた介護保険制度など、話し合いの機会を持つように努めていますが、現状連携が深まっているとは言えません。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行される「リアン通信」は、利用者のホームでの暮らしぶり、また、レクリエーションなどでの笑顔一杯の写真が満載されて、家族の安心と信頼をいただいています。金銭的にはホームが立替払いをして、毎月の利用料請求書と共に内容が送付されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問頻度は多少の差がありますが、利用料を原則、窓口納付としているところから訪問頻度は高く、その機会に利用者の状況など報告し、意見や要望を聞くよう努めています。また、いただいた内容もミーティング表に記載され、職員間で情報の共有が図られ改善されるなど、運営に反映させています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の採用には、1ヵ月の試用期間を設けてホームの目指すケアを学んでもらいますが、質の高いサービスを是としているホーム長は、早期離職が起きた場合も止むを得ないとして、安易な妥協はしないとの信念があります。離職など異動があった際には、職員全員で利用者への影響防止にあたっています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新しく職員となった際には、1ヵ月に亘り新人教育として、徹底して学んでもらいます。また、定例会議を利用してKJ法による勉強会、外部での研修にも積極的に参加してもらうなど、職員を育て、働きながらスキルの習得への取り組みが行なわれおり成果が表れています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者（ホーム長）は、同業者との交流を通じたホーム運営、またサービスの質の向上は十分に理解されており、ほかのグループホームとの交流を深めながら、ネットワーク作りを模索している状況下にあります。	○	市内及び近郊の同業者間では、ネットワーク作りに対する機運が浅いものの必要性は理解されてきつつあり、運営者の気概により早期にネットワーク作りができあがり、職員間の交流や相互訪問などが実現されるよう期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設されているデイサービスからの待機者入居が多く、ホーム自体には馴染みができています。それでも入居に際しては度々訪問していただき、中にはショートステイで2～3日の宿泊をするなど、馴染みの関係作りに努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	運営法人の名称「リアン」が示すように、職員は利用者との（絆）を最大の拠りどころとして捉え、利用者と共に過ごし、支えあう関係作りが日々行なわれています。若い職員は利用者から教えていただくことで、より一層の絆づくりを深めています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃から利用者本位のケアに徹するよう努めています。利用者と職員との信頼関係の構築により、安心感が醸成され、思いや意向の把握ができることを職員は学びながら努めています。困難な場合でもアイコンタクトなど、言葉にたよらないコミュニケーションを深めるようスキルの向上を目指しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	センター方式の採用により、十分なアセスメント、モニタリングを重ねながら、カンファレンスで職員も計画の立案に参加して作られています。また、家族からの意見をできるだけ計画に反映するよう配慮されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画の見直しは、3ヵ月のスパンで行なわれますが、職員は毎日のモニタリングで状態変化の発見に努め、即座に見直しが行なわれることとしています。また、状況によっては医師及び訪問看護師、家族を交えた話し合いで計画が見直されています。これら見直しはターミナルケアへの計画立案にも継続されて行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望、また、家族の状況などに対応して病院の送迎、買物などのほか、ホームに併設のデイサービス、ショートステイを利用した柔軟な取り組みも行なわれています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制の充実を図るため、協力医療機関から毎月1回の往診があります。また、訪問看護ステーションとの契約により、毎週1回の訪問看護があるなど、適切な医療が受けられるよう支援がされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでは、入居の時点から看取りを前提として十分な話し合いが持たれています。重要事項説明書には、重度化した場合における対応も記載され、入居時の同意書、また、重度化に際してのターミナルケアの同意書に主治医、家族、看護師など関係者の意見が集約されて記載され、全員の共有が図られています。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の人格、尊厳を損なわないよう言葉かけなどに細心の注意をしています。また、失禁などには他の利用者に知られないよう、職員間で造語による連絡をとるなど、プライバシーにも配慮した支援が行なわれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位の暮らしができるように、また、その人らしい暮らしが毎日継続されるよう、職員は情報を共有しながら支援しています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が最も楽しみとしている食事は、各々好みの場所で、ゆっくりとしたペースで進められています。居室での食事を取る利用者が2～3名いるため、職員全員と一緒に席に着くことは難しいですが、管理者は食事介助のほか、利用者一人ひとりに声掛けをするなど奮闘されている様子が窺い知ることができました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームでは週2回の入浴をしていただくよう支援していますが、希望にも沿うよう配慮がされています。また、状況に合わせシャワー浴、足浴なども取り入れながら、入浴が楽しめるよう支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器拭き、洗濯物たたみ、食事の下拵え手伝いなど日常的な役割り、また、歌唱、デイサービスの利用者と合同の室内運動会やミニゴルフ、ボーリングなど、楽しみの場面作りをしながら気晴らしの支援が行なわれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	冬季間は雪と凍りついた路面で散歩は困難ですが、夏季の天候の良い日はできるだけ散歩を主体とした外出の支援を行なっています。また、旭山動物園や小樽の水族館、海水浴場、花見、紅葉狩りなど、遠方のドライブも計画的に実施し、閉じこもりの防止に努めています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の玄関施錠のほかは、全て開放されています。居室及び廊下には夜間にセンサーが起動して利用者の状況を把握するようにしています。		

岩見沢市 グループホーム えみな

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年からの取り組み課題でもありましたが、消防署の協力をいただいて年に2回の夜間想定も含めた避難訓練が実地されています。また、訓練に際し住民の方々に視察をお願いするなど、前向きな取り組みが見られますが、運営推進会議での協議、また、町内会に向けた要請など十分ではありません。	○	災害の臨場にあつては、何より近隣の住民の協力が必要であり、日頃から協力をいただく体制作りへの要請は必要と思慮します。避難にあつての住民の対応、ポジションなど、具体的な話し合いにより、安心、安全の取り組みを今後期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事の摂取量及び水分摂取量は細やかに記載され、医師の往診の際にチェックを受けています。献立は利用者の状況を勘案しながら、職員が1週間毎に作成しており、時折り市立病院の管理栄養士の指導をいただいて、バランスの取れた食事の提供を心がけています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間兼食堂は、若干手狭な感じもありますが、ソファや座卓など寄り添いながら、ゆっくりとした時間を過ごしています。廊下を隔ててデイサービスの利用者もおり、時折り交流が図られるなど、居心地の良い家庭的な雰囲気が漂っています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての居室に絨毯が敷かれ、家庭の居室そのものの雰囲気がします。身の回り用品も、家族がそれぞれ使いやすいよう配置を考慮するなど、落ち着いた空間となっています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。